世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

アレクサンドロス大王の東方遠征の経過について，400 字以内で以下の語句を用いて説明しなさい。

アレクサンドリア　　インダス川　　ダレイオス 3 世　　バクトリア　　マケドニア

筑波大

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

前 508 年に，ギリシアのアテネではクレイステネスの改革によって民主政の礎が据えられたが，伝承によれば，ローマでもほぼ同じ頃(伝承では前 509 年)に王政が廃されて共和政への道が拓かれた。アテネの民主政とローマの共和政は，ともに市民社会を実現するためのモデルを近代以降の世界に提示することになるが，両者のあいだには相違点もまた少なくない。両者の類似と相違がアテネとローマそれぞれの歴史的展開にどのような影響を与えることになったのか，下記のキーワードを参考にしながら(必ずしも，これらのすべてに言及する必要はない)350 字以内で論述しなさい。

名古屋大

元老院	民　会	貴族(パトリキ)	陶片追放
市民権	執政官(コンスル)	帝　政	抽　選

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ローマは，イタリア半島の小さな都市国家からその国の歴史を始めたが，次第に領土を拡大して，前 1 世紀後半にはついに地中海周辺地域のほとんどを領有する大国家となった。この過程で，ローマ国家は都市国家の体制から大きく変化した。前 3 世紀から前 1 世紀にかけて生じたローマ国家の軍隊と政治体制の最も重要な変化を，300 字以内で説明せよ。解答にあたっては，下記の 2 つの語句を適切な箇所で必ず用い，用いた箇所には下線を施せ。また，句読点も字数に含めよ。

私兵　　元老院　　京大

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

395 年のローマ帝国の東西分裂の後，4 世紀末から 8 世紀前半までの時期を経て，ビザンツ(東ローマ)帝国は，小アジアとバルカン半島を主たる領土とした独自の世界を形成するに至る。その歴史的過程について，以下の語句を用いて 400 字以内で説明しなさい。

イスラーム　　ギリシア正教会　　ササン朝ペルシア　　**筑波大学**

スラヴ人　　ユスティニアヌス

世界史記述問題解答用紙　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿

次の問について，400 字以内で解答しなさい。なお，解答文中では指定された語句に下線を施すこと。
紀元前 1 世紀から紀元後 376 年までのローマとゲルマン人の関係について，以下の語句を用いて説明しなさい。

カエサル　　軍人皇帝時代　　『ゲルマニア』　　東ゴート族　フン族　　**筑波大学**

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

現代においてユダヤ人はパレスチナ地域だけではなく広く世界各地に離散した形態で生活している。しかし，このようなユダヤ人の離散状況(ディアスポラ)は近代に至って始まったわけではなく，既に古代において周辺諸国による政治的従属化が契機となって発生していた。キリスト教化の過程が比較的短期間の内に地中海世界の広範囲に渡って進捗したのも，それが主に，このような形で各地に散在していた会堂に集まったユダヤ人の改宗から始まったからである。

では，紀元前十世紀初頭に成立したダビデ王朝以降，ユダヤの民はどの周辺民族の支配に甘んじ，どのような事件がきっかけとなって世界各地に離散していったのか。時系列に沿って離散を促した事件を指摘しつつ，ユダヤ人国家がローマ帝政期に至るまでに経験した対外的関係の変遷の概略を示しなさい。ただし，以下の語句を使い，最初に用いた箇所に下線を付すこと。

〔語句〕　アッシリア　　アケメネス朝ペルシア　　新バビロニア

南・北王国への分裂　　マケドニア　　ローマ　　千葉大

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

現在，ヨーロッパと呼ばれている地域の周辺部で展開した歴史について，以下の問いに答えなさい。
９～10 世紀以降ローマ＝カトリック圏に侵入したノルマン人やマジャール人は，10 世紀後半以降ローマ＝カトリックを受け入れ，その重要な構成員となった。これによりローマ＝カトリック圏は拡大した。
以上の過程について，彼らによる国家形成にも触れながら 250 字以内で説明しなさい。なお，次の語句を必ず用い，それらの語句には全て傍線を引くこと。

ハンガリー　　ノルマンディー
スカンディナヴィア　　イングランド

大阪大学

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

中世初期のノルマン人の活動とその影響について 400 字以内で論述せよ。なお，論述するにあたっては，下の語句をすべて使用し，使用した箇所には下線を引いておくこと。

カヌート　　シチリア　　封建制度　　ルーシ　　ロロ　　京都府立大学

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

476 年に西ローマ帝国がほろびた後，西ヨーロッパではフランク王国が中世世界の形成に大きな役割を果たした。そして 10～11 世紀に西ヨーロッパ中世世界の基本的な骨組みとなる封建社会が成立する。西ヨーロッパ中世世界に特有のしくみと言われる封建社会の成立過程を，同じ頃(7～10 世紀)のビザンツ帝国の社会の特徴と比較しながら，350 字以内で説明しなさい。説明に当たっては，以下の語句を参考にすること(必ずしも，これらのすべてに言及する必要はない)。

封建的主従関係，　荘園，　外敵の侵入，　中央集権と地方分権，
軍管区制(テマ制)

名古屋大学

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

十字軍の運動が始まる頃には，西ヨーロッパ世界はローマ＝カトリック教会の下で統合され，独自の文明として自己を主張し始めたように見える。だがキリスト教会は古代ローマの時代から着々とその組織づくりをおこなってきていた。このキリスト教会の動きに注目しながら，十字軍が開始されるまでの西ヨーロッパ世界の形成について，以下の語句を用いて，400 字以内で説明しなさい。なお，解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

イスラーム教徒　クローヴィス　聖像禁止令　ニケーア公会議　800 年

筑波大学

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

次の問について，400 字以内で解答しなさい。なお，解答文中では指定された語句に下線を施すこと。
現代のドイツ領土は，かつての神聖ローマ帝国を基盤としている。神聖ローマ帝国の名称の由来，
その 15 世紀末までの変遷について，以下の語句を用いて説明しなさい。

オットー1世　　金印勅書　　皇帝による統一　　領　邦　　イタリア政策

筑波大学

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

次の問について，400 字以内で解答しなさい。なお，解答文の中では指定された語句に下線を施すこと。
西ローマ帝国滅亡後から8世紀後半までのイタリアの政治情勢について以下の語句を用いて述べなさい
（なお，以下の語句のうちランゴバルドはロンバルドと表記される場合もある）。

ピピン　ランゴバルド　東ゴート　ユスティニアヌス　カール大帝

筑波大学

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ヨーロッパの中世末期は，封建社会が危機をむかえた時代であると同時に，こうした危機への対処の中から，いくつかの地域，とりわけイギリスとフランスで王権を中心として国家の統合が推進された時期でもあった。だが，中央集権化が進まなかった地域もある。同じ頃のドイツとイタリア北部の状況を，なぜそれらの地域で中央集権化が進まなかったかに留意しながら，350 字以内で説明しなさい。その際，以下の語句をそれぞれ一度は用いること。

神聖ローマ皇帝　　金印勅書　　領　ヴェネツィア　　教皇

名古屋大学

世界史記述問題解答用紙

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

12 世紀に至る聖職叙任権闘争について 400 字以内で論述せよ。
なお，論述するにあたっては，下の語句をすべて使用し，使用した箇所には下線を引いておくこと。

1122 年　カノッサ　クリュニー　妻帯　ハインリヒ 4 世　京都府立大